PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-144524

(43)Date of publication of application: 19.05.1992

(51)Int.CI.

A47L 9/10

(21)Application number : 02-267093

(71)Applicant: TOKYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing:

03.10.1990

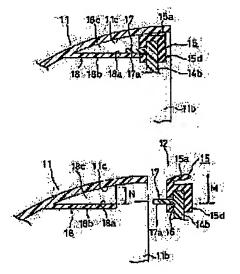
(72)Inventor: MURAKAMI MINORU

(54) VACUUM CLEANER

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the clearance from being generated between the inner peripheral wall of a dust collecting case and a filter unit even if the dust collecting case is deformed by setting a distance between the inside of a pin and the outer peripheral surface of annular packing larger than a distance between the inner peripheral surface of the dust collecting case and the abutting surface of an engaging part.

CONSTITUTION: At the time of fitting a filter unit 12, even if a formed dust collecting case 11 is deformed, its deformation can be reformed by allowing the abutting surface 18c of each engaging part 18 to abut on the inside 17a of each pin 17, respectively. Therefore, the dust collecting case 11 and a motor—driven case can be connected without generating a step difference in its connecting part. Also since a distance M between the inside 17a of the pin 17 and the outer peripheral surface of annular packing 15 is set larger than a distance N between the inside wall surface 11c and the abutting surface 18a, a sealing part 15a of the annular packing 15 becomes a compressed state and abutted on the inner peripheral wall 11c of the dust collecting case 11, therefore, it does not occur that a clearance is generated between the inner peripheral wall 11c of the dust collecting case 11 and the filter unit 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

平4-144524 四 公 開 特 許 公 報 (A)

Solnt. Cl. 3

庁内整理番号 識別配号

❸公開 平成4年(1992)5月19日

A 47 L 9/10

7618-3B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

電気掃除機 60発明の名称

②特 類 平2-267093

類 平2(1990)10月3日

神奈川県泰野市堀山下43番地 東京電気株式会社泰野工場

内

東京電気株式会社 勿出 願 人

東京都目黒区中目黒2丁目6番13号

弁理士 西脇 民雄

1. 発明の名称

. 電気掛除機

2. 特許請求の範囲

前部に吸引ホースが着脱可能に接続され、前記 吸引ホースから臨決を吸引させるための電動送風 機を内蔵した電動ケースを接続する前口部を後部

前記別口部内に嵌合されるフィルタユニットと

前記フィルタユニットを、フィルタを保持した 枠体と、放枠体の外間に取り付けられ、前記開口 部の内周壁と前配枠体との間をシールする環状 パッキングから構成し、

数環状パッキングを、約記開口部の内周壁と当 接するシール部と、前記枠体と当接する基部から

鉄基部に複数の黄通孔を形成した電気掃除機で あって、

前記貫通孔に対応した前記枠体にピンを突設し

て前記賞遊孔に貫押させると共に、鉄ピンの先端 を前記集集ケースの前部倒へ向けて前記基部から 突出させ、

前記集盛ケースの内阁間に、前記ピンの内側と 当接する当接面を有する複数の係合部を各ピンに 夫々対応をせて設け、

前記ピンの内側と前記環状パッキングの外周面 との間の距離を、前記集庫ケースの内盤面と前記 係合部の当袋団との間の距離より大きく設定した ことを特徴とする電気掃除機。

3. 預明の詳細な説明

(避禁上の利用分野)

本発明は、集盛ケースの朝口部内にフィルタユ ニットを嵌合した電気揺除機に関するものである。 (従来の技術)

從来、第9図に示すように、電気掃除機 a は、 前部に吸引ホース(図示せず)が着脱可能に接続 される接続口1aと後部に関口部1bとが失々形 成された集盛ケース1と、開口部16内に嵌合さ れるフィルタユニット3と、関ロ部1日に投続し

特開平4-144524(2)

て兼座ケース1内を負圧にする電動送風機(図示せず)が内蔵された電動ケース3とから構成されている。

そして、フィルタユニット2は、第10図に示すように、フィルタ4を保持したフィルタ枠体5 a と設フィルタ枠体5 a に一体成形されたフランジ5 b とからなる枠体5 と、前記フランジ6 b の外周に取り付けられた環状パッキング8 から構成されている。

環状パッキング 6 は、前記開口部 1 b の内周盤 1 c と 枠体 6 と の間を シールする もので、 第11図 に示すように、 終歴ケース 1 の内周壁 1 c と 当級する シール部 6 a と、 フランジ 5 b と 当級する 環状 当級面 6 b に は複数の 貫通孔 7 . 7 … が形成されている。

他方、フランジ 5 bには、貫通孔 7。 7 … に対応した位置に集盛ケース 1 の前部倒へ延びる複数のピン 8。 8 … が実設され、該ピン 8。 8 … が貫通孔 7、 7 … に抑入している。

そして、射出成形される様盛ケース1の肉厚は 厚く、しかも、閉口部1 b の面積は大きい。この ため、射出成形機の型から集盛ケース1 を取り外 すと閉口部1 b が変形し易く、この変形した閉口 部1 b にフィルタユニット 2 を嵌合させると、内 周醒1 c とシール部 8 a と間に隙間が生じてしま

この結果、集譲ケース1内に集風される脳袋を 電動送風線がその隙間から吸引して、フィルタ 4 で認過されずに外部へ吐き出してしまうという不 都合が生じ、さらに、電動送風機が吸引する脳袋 によって故障する等の問題があった。

本発明は、上記契状に鑑みなされたものであり、 集盛ケースが変形しても、集盛ケースの内周間と フィルタユニットとの間に該間が生じることのな い電気掃除機を提供することを目的とするもので ある。

(謀題を解決するための手段)

本発明は、その目的を達成するため、前部に扱いホースが静脱可能に接続され、前記吸引ホース

そして、この様に構成されたフィルタユニット 2 は、第12図乃至第13図に示すように、ピン8。 8 心の先端側から集盛ケース1の閉口部1 bに供 合きて集座ケース1に組み付けている。

この組み付けの数に、環状パッキング 6 はピン 8, 8…によりフランジ 5 bから外れないように なっている。

ところで、環状パッキング 6 は、フランジ 5 b の外 周翰 節と 当接する 当接面 6 d の径がフランジ 5 b の外 周翰 節の怪より小さく、且つ、フランジ 5 b に取り付けた際には内周壁 1 c の径よりも大きくなるように成形されている。

これは、フィルタユニット2を集盛ケース1の 閉口部1b内に嵌合させたときに、環状パッキング8によるシールを確実に行わせるためである。 (発明が解決しようとする課題)

しかしながら、この様な従来の電気掃除機に あっては、集盛ケース1が材料費や製作時間等の 製造性の観点からプラスチックの射出成形により 成形されている。

から遊検を吸引させるための電動送風機を内蔵し た気動ケースを接続する関ロ部を後部に形成した 集盛ケースと、前記開口部内に嵌合されるフィル タユニットとも備え、前記フィルタユニットを、 フィルタを保持した枠体と、鉄枠体の外周に取り 付けられ、前記朝日部の内閣駅と前記枠体との前 をシールする環状パッキングから様成し、眩環状 パッキングを、前記財口部の内周線と当後する シール部と、前記枠体と当接する茜部から構成し、 **膝基部に複数の貧通孔を形成した電気掃除機で** あって、前記貨遊孔に対応した前記枠体にピンを **突殺して前記貫通孔に貫押させると共に、数ピン** の先婚を前記集盛ケースの前部倒へ向けて前記基 郎から奥出させ、前記集盛ケースの内周聴に、前 記ピンの内側と当扱する当扱面を有する複数の係 合部を各ピンに央々対応させて設け、前記ピンの 内側と前記環状パッキングの外周面との間の距離 を、前記玖盛ケースの内壁面と前記係合部の当接 閩との間の距離より大きく設定したことを要旨と to.

特別平4-144524 (3)

(作用)

この様に構成された電気無除機にあっては、特体に設けた複数のピンの各内原に、業盛ケースの内周壁に各ピンに対応して設けた複数の係合部を 夫々当接させて、フィルタユニットを集盛ケース の関ロ部に嵌合させるので、発露ケースが変形し ていれば複数のピンによって傾正されることとな

(英 施 例)

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

第1 図は本契庭例に係る電気掃除機の外観を示す分解斜視図、第2 図はフィルタユニットの正面方向からみた斜視図、第3 図は要部の拡大断面図、第4 図は集盛ケースとフィルタユニットの背面方向からみた分解斜視図、第5 図はフィルタユニットを築盛ケースに接着する前の状態を示す要部の断面図、第6 図はフィルタユニットを集盛ケースに接着した状態を示す要部の断面図である。

第1図において、電気掃除機Aは、前部に吸引

環状パッキング15は、第3図に示すように、 第口部11bの内周盤11cに当接するシール部 15aと、フランジ14bの周端に取り付けるための脚部15b。15cからなる基部15dとから構成され、脚部15bには、所定間隔置をに複数の貫通孔16,16…が形成されている。

他方、この貫通孔18,18…に対応したフランジ14bの図14cには、ピン17,17…が突設されていて、賃通孔18,18…に貫押され、さらに、そのピン17,17…の先端が集座ケース11の前部例へ向けて環状パッキング15の脚部15bから所定の長さだけ突出している。

また、関ロ部11ト側の内周黙11cには、第 4回に示すように、各ピン17、17…に対応して複数の係合部18、18…が設けられている。

この係合部18は、集盛ケース11の前方へ向けて延びると共に、ピン17の内側17aと当接する当接面18aを有する当接部18bと、当接面18aを内周盟11oよりも所定距離離間させた位置に保持するための脚部18cとを有してい

ホース(図示せず)が着脱自在に接続される接続 ロ11aと後部に関口部1.1bとが失々形成され た熱盛ケース11と、閉口部11b内に嵌合され るフィルタユニット12と、閉口部11bに接続 されて集四ケース11内を負圧にする電助送風機 (図示せず)を内蔵した電助ケース13とから構 成されている。

フィルタユニット12は、第2図に示すように、 枠体14と、枠体14の外周に取り付けられた環 状パッキング15から構成されている。

枠体14は、岡崎が開口した筐体状のフィルタ 枠体14mと、フィルタ枠体14mの長部側(舞 2回において右側)の外周に一体成形されたフランジ14bとから構成され、フィルタ枠体14m の袋部側の開口部には、通気性が良く、且つ、目の細かい材質(例えば距低等)からなるフィルタ 14cが保持されている。

また、枠体14は、フィルタ枠体148の外周にフランジ14bが形成されているので、強固なものとなっている。

ð.

さらに、第5回に示すように、ピン17の内側 17aと環状パッキング15の外層面との間の距離Mは、条準ケース11の内壁面11cと係合部 18の当接面18aとの間の距離Nよりも大きく 設定されている。

さらに、第6回に示すように、当接面18 a と 内周壁11 c との間にピン17が挿入すると同時 に、ピン17の内倒17 a が当接面18 a に当接 するようになっている。

上記の構成において、先ず、節3図に示すフィルタユニット12を、第5回に示すように、各ピン17の先端を集盛ケース11の各係合部18に向き合わせる。そして、各ピン17の内側17aに各係合部18の当袋面18aを失々当後させて、フィルタユニット12を集盛ケース11の閉口部11b内へ押し込んで嵌合させる。

この限、成形後の集盛ケース11が変形していても、各係合部18の当接面18cを各ピン17 の内側17aに失々当接させることにより、その

特開平4-144524 (4)

変形は矯正されることとなる。

このことにより、集盛ケース11と電動ケース 13との接続部に及益が生じることなく接続する ことができる。

さらに、ピン17の内側17aと環状パッキング15の外周面との間の距離Mは、内整面11cと当級面18aとの間の距離Nよりも大きく設定されているので、第6四に示すように、環状パッキング15のシール部15aが圧縮された状態となって集盛ケース11の内周数11cに当液するので、米盛ケース11の内周数11cに当液するコニット12との間に隙間が生じてしまうことがない。

したがって、従来のように、電動送風機が終塵 した廊块をその稼間から吸引して、フィルタで読 過されずに吐き出してしまったり、吸引した塵块 によって電動送風機が故障したりすることがない。 また、フィルタユニットは、従来のピンを利用 して集盛ケースの係合部に当接させて集塵ケース に篏合させるものであるから、複雑な構成を必要

じてしまうことがない。また、フィルタユニットは、 従来のピンを利用して集盛ケースの係合部に 当接させて集盛ケースに嵌合させるものであるか ら、複雑な構成を必要としない。

4. 図面の簡単な説明

 としない.

第7回は本発明の第2実施例を示し、要部の拡 大図が図示されている。

この実施例は、ピン 3 0 の免<equation-block>館にテーパ部 3 1 も形成したもので、ピン 2 0 の係合部への挿入を容易にしたものである。

第8四,は本発明の第8実施例を示し、要部の拡 大図が図示されている。

この実施例では、係合部18の先端にテーパ部 80を形成したもので、係合部18へのピンの挿 入を容易にしたものである。

(発明の効果)

断団図、第18回は集盛ケースとフィルタユニットの背回方向からみた分解斜視図、第13回はフィルタユニットを集盛ケースに設着した状態を示す要部の前回図である。

A…電気掃除機・ 15…環状パッキング

M. N…距離 15a…シール部

11…集盛ケース 15 d… 遊部

1 1 5 … 附口部 1 6 … 贫溫孔

11 a…内周壁 17 …ピン

12…フィルタユニット 17 8…ピン内倒

18…電動ケース 18…係合部

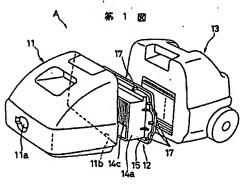
14…种体 18 a… 当接面

14c…フィルタ

出职人 東京電気株式会社



特期平4-144524(6)



A… 智気神欲感 15 … 環状パッキンケ 11… 保息ケース 15a… シール部 11b… 閉口部 15d… 基 部

 11c… 内間型
 16… 質値孔

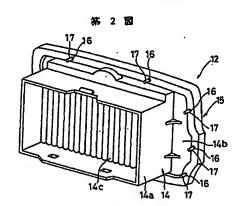
 12… 74ルタユニット
 17… ピン

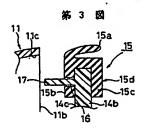
 13… 電動ケース
 17a… ピン内衛

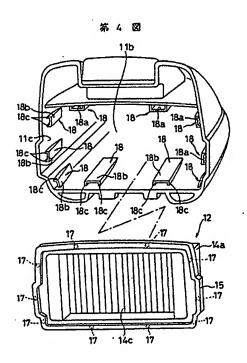
 14… 評体
 18… 係合部

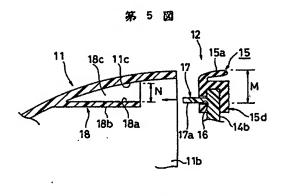
14c… 7ィルタ 18a… 当接面

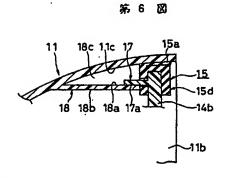
M.N··· 蛭 粒











特開平4-144524 (6)

